

プレーパーク レポート

10/26
(日)

あいにくの雨となった今回、72名の方にご来場いただきました。土砂降りの予報もありましたが、小雨程度で終わりました。芋掘りを告知していたため、自宅ではできない体験だからとお子さんを連れてくる初参加の方もいて、宣伝効果が表れました。

当日の推進委員及びボランティアは「子どもたちの積極性を育もう」という委員長発案スローガンのもと、一歩引いた見守りのスキルを身につけました。



ボランティアには新社会人2名、一般4名、推進委員8名にご参加いただきました。最初のスタッフミーティングでは季節による天候の注意点や、こどもとの接し方、またオンライン会議で話し合った内容のフィードバックが行われました。今回の開催内容決めの場（10/15（水）のオンライン会議）では「プレーパークに関して大人の手を加えすぎでは？」という気づきがありました。「初心に帰ろう。かかわる大人ももっと自然体でよいはず。手をかけすぎずに自然体で臨もう」と話し合われました。このスローガンのもと、ボランティアも推進委員も「こどもの積極性を大切に接するには…？」と悩み、その場にいた全てのスタッフが行動にブレーキをかけたように見えました。例えばボランティアの坂本さんから「芋を洗っちゃおうか？」と申し出てもらいましたが、「まだ待ってみよう」とやり取りをしました。しかし、こどもの遊びに対するアクセルこそがいつも自然体であることに気づかされました。こどものほうから「マシュマロ焼く？」と声をかけてくれたのでプレッシャーをやり過ごすことで、いつも以上に大人の遊び心が動き、いつも以上にリラックスした大人の笑顔が見られました。



前回から登場の「竹を使ったジャングルジム」は推進委員のトヨちゃんがあずまのすぐ前に組んでくれました。雨が降り出してきても、竹がすべってつるつるしてもこどもには尚面白く感じられた様子で、こどもたちが絶えず上り下りしました。雨は終始小雨でしたが、簡易カッパにもなるようにハロウィンカラーのゴミ袋を出しました。油性ペンやガムテープで思い思いにデザインすると、ハロウィン気分がたのしめたようです。

告知していた芋ほりは、バケツ約10杯でした。途中で土の中からネズミが数匹這い出しました。こどもたちはびっくりしながらも夢中になって追いかけていました。焼き芋には、前回の試し堀りで収穫したサツマイモを焼きました。生クリームとチョコスプレーを添えるとまるでパフェ！お子さんとママさんに大人気でした。

プレーパークの締めくくりはなんといっても大綱引き。大人もこどもも男性も女性も入り混じって20名対20名が一所懸命に引き合い、「オーエス、オーエス」の掛け声が響きました。女子の圧勝により、ハイタッチで終了しました。



芋ほりを目指して初参加した家庭の方からは、「芋ほり以外に何ができるんですか？」と言われてしまいました。「この場所のどこが『遊び場』なんですか？」と聞かれているようで、スタッフにはショックでした。しかしながらこどもにはすべてが遊びです。ネズミも虫も火も雨も、こどもたちを裏切りません。雨除けタープを片付けながら、「これは水が落ちてくるぞ～」と言いつつ水を避けないこどもの姿に、大胆不敵な「遊び心」と「遊び場」を発見する一幕がありました。

ご協力いただいた店舗様/企業様

両神道の駅、両神温泉薬師の湯、ローソン 小鹿野飯田、綿半、ラコマート、ウエルシア、ファミリーマート下小鹿野、セブン小鹿野バイパス、セブン下小鹿野、(株)イチワタ、亀吉パン、コメリ、一二三屋、加藤屋洋品店、近藤金物店、八宮松雪堂、村上商店、(株)菊屋、肉の丸清、中野酒店、おもちゃのツカモト、村上文具、トミモ化粧品店、アライパン屋、ウニクス秩父、(株)源作ワイン、ふるさと両神蒔蓐専門店、小鹿野図書館、エネオス 小鹿野バイパスSS、太田甘池堂、須崎旅館、カインズ秩父店、(株)大野毛糸店、ヤマサ花店、トキワスーパー、パナピット・エルフ、マスダプロパン、越後屋旅館、巨香の郷、秩父富士、オンライン情報発信

ボランティア協力依頼
マスダプロパン
パナピットエルフ

【その他企業様】

お名前は記載できませんが、材料などをご提供いただきました皆様。

地域の遊び場作りにご協力いただきまして誠にありがとうございました♡